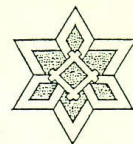


ふくい

舞鶴市立福井小学校

令和6年3月22日発行

(本年度14-②号)



福井っ子の目指す姿

かしこく やさしく たくましく ふるさと大好き

令和5年度を終えて・・・

3月を迎え、天気が安定しませんでした。最近はやむく日も多くなり確実に春の訪れを感じます。天気の良い日には、たくさん子ども達がグラウンドに飛び出して、元気いっぱい遊んでいます。ロサンゼルスドジャースの大谷翔平選手からプレゼントされたグローブは大人気。誰でも使えるように貸し出していますが、毎日誰かが借りにきてキャッチボールを楽しんでいます。右利き用と左利き用があり、上手に貸し借りしながら使っています。キャッチボールが少し上手になった？

福井小学校創立150周年を記念して「メモリアルボックス」を作りました。習字や絵画、詩、版画など、各学年が工夫し50年後に残したい物の中に入れてあります。桐製の箱で資料室に室内保管します。200周年記念には、ぜひ懐かしい思いに浸ってほしいものです。

先日、地域の方が城北中学校の「ちょっといい話」という冊子を見せてくださいました。城北中学校では、日々の学校生活の中で、ちょっと感動した出来事を、思い思いに書き留めてメッセージボックスに投函するのだそうです。困っていると助けてくれた友達の事。部活動で先輩が優しく接してくれた事。みんなのためを思って自主的に行動する姿に感動した事など、生徒さん達が日々の学校生活の中で発見する心を揺さぶられる「ちょっといい話」がたくさん綴られています。特に多いのは「ふとした優しさ」に触れた瞬間の感動です。他人のために自分の時間を使って行動する事は、簡単なようで勇気や行動力が必要です。その冊子にはそんなエピソードが溢れています。もちろん、トラブルや悩み、課題、理不尽な事もたくさんあると思います。解決しなければならぬことも、毎日のように起きているのが現実でしょう。しかし、そんな日常で「ちょっといい話（気持ち）」もたくさんあり、それにしっかり気が付いている事が素晴らしいです。思いやりが見え、心が震える瞬間を大切にしたいです。

さて、昨日3月21日（木）には「令和5年度卒業証書授与式」を行い、卒業生14名が巣立ちました。卒業生は持ち前の優しさと行動力を遺憾なく発揮し、学校のリーダーとして本当に頼りになる存在でした。きずな班活動やきずなフェスタ、遠足、運動会等で下級生の手本となり、頑張りました。卒業生一人一人についても学校生活で様々な経験を通して多くを学び成長しました。

「バトン～笑顔の未来へつなぐ最終走者～」を合言葉に、一人一人の良さをしっかり生かして、優しさが溢れる素敵な学級だった6年生。学級目標通りに、最上級生として思いやりの心や努力する大切さ、周りの人への感謝を学び、手本となって後輩に繋げてくれたと思います。中学校でも小学校生活で身に付けた力を十分に発揮して、活躍する姿を楽しみにしています。

本日は「令和5年度修了式」を行いました。本年度も学習や行事に取り組みながら個々の目標に向かって努力し、たくさん成長する姿が見られました。特に本年度は、どの学年も「生き生きと互いに学び合う学級」を目指して取組を進めました。そして、粘り強く学習に向き合い「福井っ子パワー」を発揮して活躍した子がたくさんいました。春休みには、来る新年度に向けてしっかり目標を立て、ステップアップのための準備をしたいです。

来年度も、学校のチーム力を高め「今日も楽しかった、明日もまた学校へ来たい」と思える学校づくりを目指していきます。保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げますとともに、新年度も変わらぬご支援をお願いいたします。

校長 波多野 暢 教職員一同



卒業式



メモリアルボックス